

第3回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①琵琶湖の保全及び再生について	
彦根市	<p data-bbox="201 356 1310 389">琵琶湖の保全及び再生に関する法律に係る、琵琶湖の保全と再生への全県的な取組について</p> <p data-bbox="201 454 1471 521">昨年9月に「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が公布・施行され、国が策定する基本方針を踏まえ、県が「琵琶湖保全再生計画」を策定すると伺っている。</p> <p data-bbox="201 521 1471 712">一方、琵琶湖を取り巻く環境は、外来水生植物の異常繁茂や湖岸漂着物量の増大など、今まで経験したことのない諸課題が山積している。外来水生植物については、既に対策協議会が立ち上げられており、本市としては今回の法律の主旨を尊重して参加することを表明し、県を中心に市や関係機関が一体となって、完全排除に向け取り組もうとしているところである。しかし、湖岸漂着物については、台風など大雨の到来ごとに湖岸に様々な漂着物が大量に打ち上げられ、県と沿岸市は、発生するたびに対応せざるを得ないことが共通の悩みとなっている。</p> <p data-bbox="201 712 1471 875">漂着物の中で特に問題となるのは流木であり、巨大な流木の撤去や運搬、破碎・焼却等の処分の受け入れ先、処分費用のねん出など重く負担としてのしかかっている。大量に流木が発生する原因としては、山間部における間伐材の放置と考えられ、本市においても発生源を特定するため過去に犬上川を遡上調査したところ、発生場所については不明であったが、犬上ダム周辺に同様の流木が確認されたことなどから、荒廃した山林から発生しているものと推察した。</p> <p data-bbox="201 875 1471 943">流木の大量発生は、環境や廃棄物問題だけでなく、治山や水源の涵養にも影響し、加えて森林業の衰退も意味するところである。</p> <p data-bbox="201 943 1471 1039">本市としては、漂着流木の対策について、法律の主旨を踏まえ、単に浜辺での除去の対応をするのではなく、琵琶湖流域全体の課題として県内での連携した取組が必要であり、課題を共有し、根本的な対策についての情報交換や意見を議論する必要があると考えている。</p>
	滋賀県

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
②観光振興について	
甲 賀 市	<p>県内観光ネットワークの構築について</p> <p>○琵琶湖を中心とした観光ネットワークが進められているなかであるが、中山間地域における観光ルートの設置と連携策の充実を図り、県内全体が観光客の誘客に向けた取り組みを行う。</p>
滋 賀 県	<p>県域の観光振興について</p> <p>○ 県域における交流人口の拡大と、地域振興を図るため、県では、平成30年度に交通事業者、市町・観光協会、観光事業者、経済団体をはじめとする様々な主体との協働により、旅行エージェントやマスコミ等を巻き込んで、大型の観光キャンペーンを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光振興の重要性 人口減少局面の中で、地域経済に与える影響などが懸念されているが、地域振興を図るためには、交流人口を増やす社会増のための施策が必要となっている。 2 滋賀県の現状と課題 滋賀県は、琵琶湖をはじめとする自然に恵まれ、歴史文化遺産が多く、観光素材は豊富ではあるが、全国の中でも観光認知度は低く、ブランド発信力は弱い。 3 大型観光キャンペーンの実施 本県が有するさまざまな観光素材をみがきあげ、また新しい観光素材の開発を行い、市町、観光協会をはじめ県内の様々な組織が総力を挙げて、平成30年度に県域全体で大型観光キャンペーンを実施する。 4 各地域における事業展開 大型観光キャンペーンの実施にむけ、各地域においては、さまざまな主体との連携により、受け入れ態勢の整備、観光素材の磨き上げと新しい観光素材の開発に取り組んでいただく予定。 5 キャンペーン実施による効果 観光入込客数の増加による観光消費の増加といった経済波及効果の他、本県の観光認知度の向上、地域の魅力再発見、地場産業の振興、地域における雇用の場の確保などが挙げられる。 6 今後のスケジュール 平成27年度 キャンペーン基本計画の策定 平成28年度 キャンペーン推進協議会の立ち上げ 平成29年度 プレキャンペーンの実施 平成30年度 キャンペーンの実施
③北陸新幹線敦賀以西ルートについて	
米 原 市	<p>県におかれては、昨年12月11日に与党北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会で「北陸新幹線敦賀以西ルートに対する考え方」を示されました。さらに、与党は本年3月までに大阪、京都、JR西日本、関西広域連合ほか有識者の意見聴取される予定とのことです。</p> <p>県が示されているとおり、地域の特性を考え、より早く、より安く整備することに合理性があり、関西広域連合が最も優位としている米原ルートが望ましいとの考えに賛同するものですが、一方で、与党の検討委員会が本年5月頃までにルートを絞り込む方針であることから、今後いろんな意見が出てくるものと考えられます。</p> <p>このようなことから、早期に県と各市町が一体となって、滋賀県として米原ルートの働きかけをする行動が急務であると考えますが、米原ルート実現に向け、今後どのような取組をお考えか議論したい。</p>